

「鉄道旅行が楽しいなんて」

松下 明男

ご存じ『男の旅行』が初めて開催されてから 1 年が経ち、今年は「旅先で映研の作品を撮り、駐車場の収録も行う集団・おしみ JAPAN」が発足するまでの大躍進を遂げました。なんと今日はおしみ JAPAN の松下先生により「鉄道旅行講座」が開催されます。お集まり頂いた皆さんはもれなく無料で受講していただけますので、くれぐれもお見逃しなく。

【ホームルーム】

今日はこんなにも大勢の方々にお集まりいただきありがとうございます。

まず、お集まりの受講者の皆さんは「汽車旅」や「鉄道旅行」というとどのようなイメージを持っていますか？

「展望室のスイート、食堂車で優雅にワインを…」とか、「のどかな風景の中をローカル線で、ふと降りたらそこには美味しい食べ物が…」とか思いますよね。そうです。それが普通だと思います。雑誌にも書いてあるような理想的で贅沢な旅です。

でも、そこで先生は思うのです。「冗談じゃない」と。「そんな女々しいこと言っていないで、もっと男らしく行こうぜ」と思うわけで、「諸君等のような初心者にも易しく、かつ男らしい汽車旅に、鉄道旅行に出ようぜ」と、僭越ながら、私おしみ JAPAN 鉄研代表の松下先生が、本日は語りを努めさせて頂くものでございます。

1 時間目【時刻表を買おう】

とりあえず時刻表でも買いに行きますか。何もしないより、1 センチくらいは旅に出ようって気になるもんです。

書店に行くと時刻表のコーナーがありますでしょ？「JTB」と「JR」だとか、文字がデカいのとか、よく見るといろんな種類があって、初めての方にはさぞ分かりづらいことでしょう。ここでは主要な時刻表を紹介し、皆さんの時刻表選びを手助けさせて頂こうと思います。

・ JTB 時刻表— JTB パブリッシング刊 1050 円

ご存じ、赤い表紙の大型時刻表。一番売れている時刻表ではないでしょうか。読者投稿のコーナーが充実していることでも知られます。

・ JR 時刻表—交通新聞社刊 1050 円

白い表紙の大型時刻表です。JR 公認時刻表で、みどりの窓口や JTB を除く旅行代理店の他、「時刻表検定」にも使用されています。2 色刷が特徴です。

・ 全国版コンパス時刻表—交通新聞社刊 600 円

A5 版の携帯用小型時刻表で、小型時刻表で唯一 JR 全線全駅が掲載されている時刻表です。

・携帯全国時刻表—交通新聞社刊 500円

新書版の携帯用小型時刻表です。JR 西日本を中心に掲載している時刻表で、大型時刻表には初電・終電しか載っていない都市圏の各駅停車も全線全駅全列車、しかも土休日別に掲載されているという特殊な時刻表です。でも、全列車掲載の紙の時刻表が存在しない大阪環状線の時刻は、やっぱり初電・終電しか載っていないので、あきらめてください。

ってな感じです。たとえば、『JTB 時刻表』と『JR 時刻表』の掲載内容などに差は無いので、実際に書店に足を運び、自分の目に合ったものを選びましょう。

旅行に持っていくには小型のものをオススメしますが、それとは別に、きっぷの種類なども詳しく載っている大型時刻表を1冊買っておきましょう。毎月買う必要はありません。

また、旅行用には旅に出る月の時刻表を使用する、というのも意外と大事な点。

ちなみに、僕は年に1回くらい『JR 時刻表』を買い、旅に出るときはその月の『コンパス時刻表』を使います。

2 時間目【時刻表を楽しもう】

時刻表を買ったら、次は計画を立てるわけですが、その前に時刻表の正しい楽しみ方を紹介しておきましょう。

そしたら、索引地図を開きましょう。そこには「行基図」ばりに歪んだ日本地図に、鉄道やバスの路線網が載っています。

これ、日本地図としては非常に歪んでいますが、鉄道路線図としては非常に優れているのでしっかりと目を慣らしておくのが良いです。

たとえば日本一海に近い駅として有名な信越本線の青海川駅、索引地図を見ても海に近いのが分かるでしょう。そういう路線の情景が自宅に居ながらにして初めてわかるのが、この「索引地図」なんです。もちろん100%わかるわけではありませんが。

また、索引地図には JR 全駅が掲載されています。特に地方の路線なんかを見ると、珍駅名とか、難読駅名とかあったりします。そういうのを見ると、自然と行きたくなってきませんか？

その他にも、ループ線があったり、起終点意外に乗り換え路線がない山奥を走る路線など、実際に足を運ばないと魅力が伝わらない路線だってたくさんあります。

このように、索引地図には旅に出るきっかけが詰まっているわけです。「索引地図が旅の始まり」と言っても過言ではないと思います。

でも、一つだけ索引地図の情報をあてにできない路線があります。

愛知県の豊橋駅と長野県の辰野駅を結ぶ飯田線は線形が非常にクネクネした路線ですが、索引地図では、全94駅を掲載するために線をクネクネに書いているそうです。そのためか、索引地図によって線路の通り道が全然違うでしょ。ちなみに、全線乗り通すと6時間かかります。

3 時間目【面白い列車を探そう】

『男の旅行』、それはハードな旅程で常に笑える旅行ですが、実際に旅をしていると行程表を見た感じほどハードじゃないのです。それは、たぶん列車に乗っている間が面白いからだと思います。それは、乗っているだけで面白い、ナイスな路線を選んでいるからだだと思います。

じゃあ、どういう路線や列車がナイスなのか、具体例を示しながらお教えいたしましょう。

- ・只見線: JR 東日本・会津若松(福島県会津若松市)～小出(新潟県魚沼市)・38 駅・135.2km
 あらゆる鉄ちゃんがオススメする路線ですね。冬季は豪雪で沿線の国道が機能しなくなり、唯一の交通手段となることから今日まで廃線が免れている路線です。
 我々は、高輪の旅好きな先生方の「只見線は良いよ」というお話をお聞きして今年の『男の旅』での完乗を決めました。
 今では貴重なタブレット交換も見られるなど、初めて行くには非常に適した路線です。
- ・篠ノ井線: JR 東日本・篠ノ井(長野県長野市)～塩尻(同塩尻市)・15 駅・66.7km
 篠ノ井・塩尻を結ぶ路線ですが、運行形態は基本的に松本駅から信越線・長野方面、中央線・甲府方面、中津川方面へと分かれています。日本三大車窓の一つ・善光寺平や姨捨駅のスイッチバックなどが見所で、比較的短時間で完乗できる路線ですが、ココだけを目的地とするには物足りないと思いますので、そのときは計画を上手く立てる必要があります。
- ・身延線: JR 東海・富士(静岡県富士市)～甲府(山梨県甲府市)・39 駅・88.4km
 僕が最後に身延線に乗った当時は、車掌乗務列車では、無人駅では運転士が扉開閉を行い、車掌は運転室・客室関係なく駅の出入り口に最も近い扉から降りて降車客のきっぷの回収をおこなっていたところが大変新鮮に感じましたが、当時の車両が引退した現在はどうなっているか分かりません。
 全線乗り通すと約3時間、東京からも近く、初心者が手を出しやすいローカル線です。
- ・中央西線: JR 東海・名古屋(名古屋市中村区)～塩尻(長野県塩尻市)・40 駅・174.8km
 皆さんも通勤で利用するオレンジ色の路線をずーっと行くと名古屋に着く、というと驚かれるでしょうな。東京・名古屋を結ぶ中央本線のうち、「中央西線」と呼ばれる JR 東海区間です。距離や乗車時間を見ると手強そうですが、名古屋を出て30分余り、突如現れる崖っぷちの駅・定光寺^{じようこうじ}駅や、川沿いのカーブにある古虎溪^{ここけい}駅、長野県内の上松～木曾^{あげまつ}福島間では名勝「寝覚めの床」など、都会から山の中へと移り変わる景色が楽しめます。
 運行形態は岐阜県の中津川駅で分断されており、特に中津川～塩尻間は昼間乗るとフツーに景色を楽しめる路線ですが、夜に乗ると真っ暗で何も分からんが、なんだかワクワクする不思議な路線って感じで、結構オススメですよ。
- ・新快速: JR 西日本・敦賀(福井県敦賀市)～上郡(兵庫県赤穂郡上郡町)・播州赤穂(同赤穂市)
 列車種別であり路線ではありませんが、ぜひ乗って欲しい列車として挙げておきます。
 運行路線は、敦賀～京都間が北陸本線・琵琶湖線経由と湖西線経由の2路線に分かれており、京都からは JR 京都・神戸線を通り、相生から山陽本線・上郡方面と赤穂線・播州赤穂方面に分かれます。現在は、敦賀発米原經由播州赤穂行きが最長列車となっています。
 「新快速」とは、関東で言う「特快」に相当するもので、JR 西日本の看板列車です。
 初めて乗る人にとってはビックリするくらいの速度で走りますが、そのおかげで我々「青春18きっぷ」利用者は超速で京阪神から中国以遠へ抜けることができます。その速達性ゆえに、どの時間帯に利用しても激しい混雑が避けられないという欠点があります。
 皆さんも鉄道で関西方面に行くときには新快速の恩恵をたっぷりと受けることでしょう。

・北陸本線: JR 西日本・米原(滋賀県米原市)～直江津(新潟県上越市)・ 78 駅・ 353.8km

運行形態は米原～敦賀(福井)・敦賀～金沢・金沢～直江津と分かれています。

全線乗り通すと非常に長時間となりますが、マイカーの所有率が非常に高い北陸 3 県を通るため、全線を通して比較的混雑が少なく快適に利用できる路線です。

しかし、沿線に新幹線が存在しないため「特急のための路線」として機能しており、普通列車が少ないため「青春 18 きっぷ」だけでは利用しづらいという難点があります。

・赤穂線: JR 西日本・相生(兵庫県相生市)～東岡山(岡山県岡山市)・ 19 駅・ 57.4km

路線は東岡山までですが、全列車が岡山駅まで直通しています。

神戸・大阪方面からの新快速電車は播州赤穂駅まで乗り入れています。

車窓は全線を通してローカル線らしくのどかで落ち着いていますが、途中、岡山県ひなせの日生駅付近では、港と山が迫る何とも美しく新鮮な車窓が楽しめます。

また、駅数や距離の割に時間がかかる路線です。相生～岡山間は赤穂線より山陽本線のほうが短時間で移動できますが、「青春 18 きっぷ」で京阪神から岡山方面に行く場合は迷わずこちらを通りましょう。なぜなら、赤穂線のほうが時間がかかるがゆえ、混雑を避けられるからです。そういう意味でもこの路線をオススメに入れておきます。

きすきせん
・木次線: JR 西日本・宍道(島根県松江市)～備後落合(広島県庄原市)・ 18 駅・ 81.9km

『停車場』では発表していませんが、『男の旅行 3』で訪れた路線です。

営業係数約 300、沿線道路は整備され、廃止されない理由がない、といった路線です。

とは言っても、『男の旅行』でわざわざ行くぐらいなんだから良い路線に決まっています。

駅がそば屋、駅長がそば屋の店長で名物奥出雲そばが食べられるかめだけ亀嵩駅や、スイッチバックと延命水のある駅・出雲坂根駅など、見所はたくさんあります。

駅で時刻表を思わず写メりたくなるほど列車の本数が少なく、初心者がいきなり行くには若干デンジャラスな路線ではありますが、不可能なことではまったくありませんので、ぜひ一度訪れてほしい路線です。

ここまでで挙げた路線がなぜオススメなのか。まず、自分が普段乗る東京の電車にはない、新鮮な部分の一つでもあることが 1 つです。当然「車両が良い」とか、そういう鉄道マニア的な見方も含んでいます。

そして、乗ってて何かしら面白い、笑えるという超重要な要素があるからです。

せっかく鉄道旅行に行くんですから、鉄道で移動している間、いかに面白いかで目的地を決めることは最も正しいことです。言い切ります。

当然のことですが僕の感覚と皆さんの感覚は違いますから、皆さんは僕が思うような面白さは感じないかもしれませんので、自分で鉄道旅行の経験を積み、様々な情報を集め、その結果得られた最も面白い鉄道を旅行の目的地にするのが最高の楽しみ方だと思います。

4 時間目【面白い駅を探そう】

3 時間目ではナイスな路線を考えました。今度はナイスな駅を見ていきましょう。

なお、僕が降り立ったことのない駅も、感覚でご紹介していきますので、ご了承ください。

・会津若松駅(福島県会津若松市): JR 東日本磐越西線・只見線・会津鉄道会津線

郡山駅から当駅を経由し新潟県の新津駅までを結ぶ磐越西線は、当駅で運転系統が分断されており、スイッチバックが行われます。つまり、上り列車と下り列車が同じ方向に発車していき、只見線と会津鉄道は、磐越西線とは逆方向に出発します。

駅舎は 2001 年に改装された城郭風のもので、なかなかかっこいいです。

なぬかまち

・七日町駅(福島県会津若松市): JR 東日本只見線・会津鉄道会津線

地名の読みは「なのかまち」ですが、駅名は「なぬかまち」と、なぜか歴史的仮名遣い。ナイスです。

ちなみに、只見線の駅ですが会津鉄道から直通してくる列車のほうが本数が多いそうです。

かねて

・金手駅(山梨県甲府市): JR 東海身延線

JR 東日本・中央本線の酒折～甲府間にある JR 東海の駅。30 分に 1 回特急がやってくる主要幹線を、単線で 1 つしかないホーム上から見る事が出来ます。

国鉄時代、身延線は金手～甲府だけ中央本線と同じ東京西鉄道管理局、あとは静岡鉄道管理局だったのが、JR になってからこの区間も JR 東海管内になったんだそうです。

ここけい

・古虎溪駅(岐阜県多治見市): JR 東海中央本線

3 時間目にチラッとお話した駅。多治見方面から名古屋方面へ向かう途中にこの駅を通るのですが、インパクトが違います。カーブの途中に狭いホームが置かれてるだけ、って感じです。

じようこうじ

・定光寺駅(愛知県春日井市): JR 東海中央本線

こちらも 3 時間目にチラッとお話した駅ですね。

古虎溪が弟子で、定光寺は師匠とでも言いましょうか。崖の上にある駅です。古虎溪もインパクトありますが、こちらはさらに強いです。この 2 駅が並んだ奇跡に感謝です。

・富山駅(富山県富山市): JR 西日本北陸本線・高山本線

いかにも地方の県庁所在地、といった規模の駅です。

駅構内に「メープルハウス」といううまいシュークリーム屋さんがあります。

北口に隣接して、JR 富山港線から転換された富山ライトレール「ポートラム」の富山駅北とやまえききた駅があります。「とやまえき・きた」ではなく、「とやま・えききた」と読みます。

・京都駅(京都市下京区): JR 西日本・JR 東海・近畿日本鉄道・京都市営地下鉄

エスカレーターのルールが、地下鉄の駅は大阪式で、JR の駅は前の人の後ろに並ぶ傾向があります。はっきりしないところがナイスですね。

・鳥取駅(鳥取県鳥取市): JR 西日本山陰本線・因美線

富山駅同様、地方の県庁所在地らしい駅。コレといって特徴があるわけでもなく、いざご紹介するとなると何をどう紹介して良いのか分からないのですが、何となく雰囲気良かったのでご紹介しておきます。駅構内のそば屋には、悪役商会・八名信夫さんのサインがあります。

・亀嵩駅(島根県仁多郡奥出雲町): JR 西日本木次線

この駅も3時間目にはチラッとお話しました。映画『砂の器』で有名になった駅です。また、この駅は駅舎が「扇屋」というそば屋で、この地方の名物「奥出雲そば」を食べることができます。めちゃくちゃうまいです。

僕がオススメする駅はこんなところですよ。実際に降り立った駅はこれの中でも半分くらいで、あまり当てにできない情報かもしれませんが、逆に列車に乗ったままでも十分楽しめる駅、とらえてもらえれば幸いです。

5時間目【計画を立てよう】

そろそろ計画を立てないといけませんね。計画を立てる際には、

- ①行ってみたい駅と路線
- ②使うきっぷと旅行の日数と予算
- ③出発の列車

この3点から目的の路線・列車を絞るのがいいでしょう。初心者の諸君が無理して魅力あふれる私鉄を探す必要はありませんよ。JR線にも愉快的な路線はいっぱいありますんで。

最初に、①は3時間目にお話しした内容を参考に、行ってみたい駅と路線を考え、探します。無理に自分で調べたりする必要はありません。身近にいる「旅の達人」的な人に聞いたりすると良いでしょう。ちなみに、僕は石居先生と索引地図を見ながら語感の良い駅名を探してみたり、単純に「おもしろそうだから」という理由だけで実際に行ったりしますが、ハズれることはまずないです。

また、行く前から完璧に面白い駅や路線を探さなくても、どこに行くにしても旅先に1つくらいは面白い物があるはずですから、考え込むことはありませんよ。

次に、②使うきっぷと旅行の日数と予算を決めます。僕は鉄道旅行で北海道に行ったことがないので、本州、特に南東北から西に旅立つ際の予算・きっぷを紹介していきます。

僕は毎回「青春18きっぷ」を使用します。お得なきっぷは他にもいろいろありそうですが、各地の楽しいローカル線に乗るには「青春18きっぷ」が一番お得ですから、初心者の諸君は迷わずコレを選びましょう。

なお、「青春18きっぷ」の使い方は説明しませんので、めいめいでよ〜く調べてくださいな。

次に、旅行に行く日数に合わせて予算を決めます。

初心者の皆さんには0〜1泊3日か、体力に自信のある方には1〜3泊4〜5日をオススメします。なお、車中泊は1泊に数えません。

3日間の旅行は、「遠いっっちゃうほど遠くはないけど、まあまあ遠い」都市圏を目的地とする旅行に適しています。往復に夜行列車を利用し、関西や仙台方面で1日遊ぶ3日間の旅行なんかは、初心者におすすめの旅行です。

また、4〜5日間の旅行は、「多少ディープに地方を攻める」のに適した日数です。ご存じの通り、昨年夏の『男の旅行』は、1泊4日で関西方面と只見線を目的に旅していましたね。

それでは「旅費」について説明していきましょう。ここでは実際の旅行にかかる費用のうち、交通費・宿泊費の合計のことを「旅費」と呼びます。食費やおみやげ代などは含みません。

まず、0泊3日の旅行は、「青春18きっぷ」2日分と、往復の夜行列車の指定席券が基本料金のもの、それに、行きの夜行列車の日付変更駅までの乗車券と、2日目に観光に利用する私鉄・地下鉄・バスなどの運賃を、先ほどの基本料金にたしたものがこの旅行の「旅費」にな

ります。おそらく、これで1万円はかかってないんじゃないでしょうか。それに食費とかおみやげとか含めて、2万円もあれば十分に旅行ができてしまうってわけです。だいたい1万円くらいが0泊3日の標準的な旅費と考えていただいて問題ないと思います。

じゃあ、宿に1泊し、日数が増えた場合を考えましょう。

0泊3日の旅費に、「青春18きっぷ」1日分と宿泊費を足します。安っすいビジネスホテルなんか泊まったとして、1万5000円ってとこでどうでしょうか。

去年の『停車場 vol.9』の33ページを開けてみてください。お持ちでない方は鉄研のホームページからご覧ください。そこには去年の『男の旅行』の全貌が記されています。当初の旅費は1万4000ほどでしたが、寝坊しちゃったもんで途中の新幹線代が含まれ、1万7000円くらいだったというわけです。それでもそんなに高くはないんじゃないですかね。

あと、夜行列車は「青春18きっぷ」で乗れる快速を選んでください。そのあなた、急行「能登」号は乗れませんよ。その辺もよ〜く調べてくださいね。

ということで、②のまとめですが、3日間の行程では1〜2万円、4〜5日間だと3〜4万円ほど用意しておけば「青春18きっぷ」の楽しい旅には十分ではないかということです。

さて、長くなりましたが③出発の列車を決めましょう。

朝出発し、目的地に昼までに着かないならば、夜行列車を利用しましょう。そのほうが時間も金も節約になります。

また、たとえば東京から九州や四国に行く場合、東京を夜行列車で出発し、普通・快速列車だけを利用すると、到着は翌日の夕方を過ぎてしまうでしょう。すると、向こうで1泊する必要も出てくるでしょうから、宿泊費を浮かすために、京都・大阪から出発する夜行列車を利用します。その場合、京阪神で1日潰すなら前日の夜に東京を出発し、そうでないなら、東京を朝出発すれば、京都・大阪からの夜行列車にちょうど良い時間に到着できます。

なんだかややこしいようですが、③で大切なのは、「とにかく多少のゆとりを持って」ということです。金銭の余裕、乗り換えの余裕、いろんな余裕を持っておいて頂きたいと思います。旅先で笑える程の余裕をとっておかないともったいないですからね。

6時間目【ナイスな列車の例】

まず1つめの例は、ワンマンカーでない列車はかなりナイスです。たとえば、無人駅の多い路線で車掌乗務列車に乗ると、多くの場合車掌さんによる検札やきっぷの発売がありますが、これは都会で生まれ育った人にとっては非日常だと思えますから、新鮮な気持ちになれるはずです。

また、当然ですが車掌さんは放送を喋りますが、それも注意深く聞いてみると地方により放送の言い回しが違うのに気付いたりします。

そういう自分が普段使う電車とのちょっとした違いに気付くと、間違いなく旅はどんどん面白くなっていきます。

2つめの例、ワンマンカーもかなりイケてます。東京の一部の地下鉄もワンマン運転ですが、そういうのではなく、もっとワンマンカーらしいワンマンカーです。

ワンマンカーに初めて乗るときはとても戸惑うと思います。僕は一番前の車両から乗り降りする、というルールをつかむまでに時間がかかりました。そうやって戸惑うこともまた旅の面白さってものです。

駅に着く前の車内放送で、「お出口は」右とか左とかじゃなくて「運転席後ろのドアです」と言われたりするの新鮮だし面白くてなかなか良いです。

以上の2点は矛盾しているように思えますが、どちらにも面白いところがあるということで納得していただけますでしょうか？

そして最後の例に、かなりマニアックな内容になりますが、僕が石居先生と関西に行くと、『予想外チャイム』と『連打』のチェック」というものをおこなっています。去年『「男の旅」記』でもちょっと触れましたが、JR西日本の一部車両に搭載されているドアチャイムの音色は2回目で音程が高くなり、初めて聞く人にとって予想外な展開を繰り広げることから、おしみJAPANではこれを『予想外チャイム』と呼んでいます。また、関西で新快速に乗ると分かると思いますが、もうすぐ扉が閉まる予告として、扉は閉まらずに『予想外チャイム』だけが鳴ることがあります。それをおしみJAPANでは『不発』と呼び、2回目からの『不発』を『連打』と呼びます。余談ですが、楽しみを見つけてしまった以上、ここでご紹介しないわけにはいきませんのでね。

【ホームルーム】

今日は鉄道旅行初心者に向けて、ということで講義を行ってきましたが、最後に受講生のなかで鉄道に興味がないという方々にお話しさせていただきます。

「鉄道」とひとくくりにする中でも、細かな違いがあります。その違いが特に顕著にあらわれている例として、「関東と関西」あるいは「放送の言い回し」が挙げられると思います。

たとえばホームを番号を、同じJRでも関東では「○番線」と言いますが、関西では「○番のりば」と言います。ここでは説明を省略しますが、それにはちゃんとした理由があります。

同様に、乗り換え案内で、関東では主に「○○線をご利用の方は○番線にお回りください」の言い回しが使われますが、関西では主に「○番のりばにお越してください」と言われています。

そのような細かな違いに、関東で生活する皆さんが関西の鉄道を利用したとき気づいたとしましょう。では、「なんで東京だところなのに、大阪だところなるんだらう」と疑問に思うことがあるのでしょうか。

ないならば、ぜひ今度から、何か違いを見つけては「何でだろう」と疑問に思ってみてください。関東と関西の違いじゃなくて、同じ地域のJRと私鉄の違いでも良いんです。放送の違いでなくても全然大丈夫です。

そしたら、暇なときにその謎について調べてみましょう。この世の中ですから、インターネットでちょっと検索すればすぐに解決することも多いと思います。

この一連の行動を起こしたとき、あなたは生まれて初めて鉄道に興味を持てるかもしれません。

主婦の皆さんが「何で『ヨード卵・光』は普通の卵より高いのかしら」と疑問に思うことと同じように、鉄道にも疑問を持っていただければ、鉄道に興味を持てるんじゃないでしょうか？

次々と疑問を見つけ解決することが楽しくなれば、毎日の通勤通学も楽しくなるんじゃないですかね？と電車で通学しない僕がふと思ったところで今日の講義は終わります。

ご静聴ありがとうございました。